

# 近代 資本主義の発達

## 1999 年度 第 1 問

A 前近代における様々な抑圧の根幹となってきたものの一つに、<sup>(a)</sup>身分制による支配があった。<sup>(b)</sup>近世においては、身分は、職業とそれに対応した義務に結びついていた。そうしたなかで、特定の身分の者が特に<sup>せんし</sup>賤視されて、職業の制限など厳しい差別の対象となることがあった。

明治維新以降、こうした身分制は廃止されたが、旧来の「ア」は、1884 年の「イ」により維新の功労者らとともに身分的な特権を与えられ、明治憲法体制下では「ウ」の重要な構成員となった。また、1871 年にはいわゆる身分解放令により、えた・非人の称が廃止されたが、その後も被差別民への社会的・経済的差別は容易には解消されなかった。

一方、1880 年代からはじまった産業革命は、近代産業の担い手となる多くの労働者を生み出したが、その<sup>(c)</sup>過酷な労働条件は労働者に新たな抑圧を強いるものとなった。

問 4 下線部(c)に関連して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

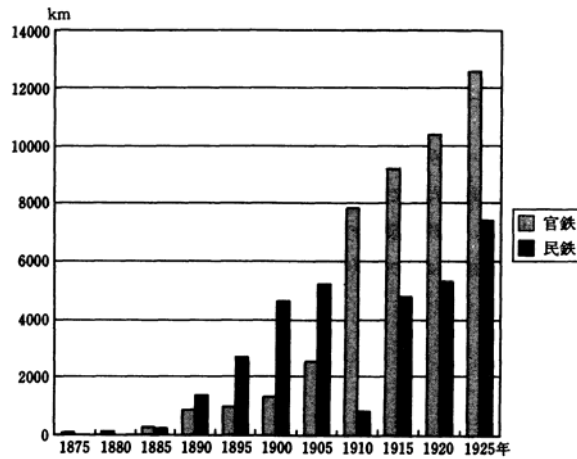
- ① 工場労働者の中心は繊維産業の女子労働者で、彼女らの多くは低賃金で働かされていたが、1日平均の労働時間は8時間だった。
- ② 労働者が、賃金の引き上げや待遇改善を求めるストライキをおこすようになったのは、第一次世界大戦後からである。
- ③ 日露戦争後、労働者の保護を目的とする工場法が制定され、即時に施行された。
- ④ 各地の工場労働者の実態を調査した報告書である『職事情』が刊行された。

## 2000 年度 第 5 問

A <sup>(a)</sup>ペリーやブチャーチンの来航に際してもたらされた鉄道模型に接した当時の日本人は、驚きとともに強い関心を示した。明治に入ると、国内での鉄道敷設が進められていくが、鉄道は<sup>(b)</sup>文明開化の象徴の一つであり、人々の日常生活にも大きな影響を与えた。鉄道の発達は汽船海運とともに、近代的交通網の形成をもたらし、日本の産業発展のための重要な基盤となった。

一方で、鉄道は政治・外交・軍事においても重要な意味をもった。たとえば、日本による朝鮮での鉄道敷設や、<sup>(c)</sup>南満州鉄道株式会社(満鉄)の設立などは、鉄道が植民地経営の重要な手段・拠点となったことを示している。

問 4 次の図は、官営鉄道(官鉄)と民営鉄道(民鉄)の営業キロ数の推移を示したものである。この図を参考にしながら、鉄道業に関して述べた文として誤っているものを、以下の①～④のうちから一つ選べ。



(安藤良雄編『近代日本経済史要覧』により作成)

(注) 1875年の数値は官鉄 62 k m 民鉄 0 k m, 1880年の数値は官鉄 123 km 民鉄 0 km。

- ① 明治初期には、日本最初の鉄道として、東京(新橋)・横浜間の官営鉄道が開通した。
- ② 日本鉄道会社の成功をうけて、民営による幹線鉄道敷設が進み、1890年代には民鉄が官鉄を大きく上回るようになった。
- ③ 日露戦争後に、東海道線が全通するなど官営による幹線鉄道の建設が大きく進展したため、再び官民の比重が逆転した。
- ④ 第一次世界大戦中から大戦後にかけて、都市化の進展を背景に大都市圏に郊外電車が発達し、都市近郊に住む人々の通勤の足となった。

## 2001年度 第1問

B 絹を織る技術は、遅くとも弥生時代には大陸から伝来していたことが、出土遺物から確認されている。古代・中世社会では、絹織物はおもに貴族や武士たちが着用した。中世末には特産地が成立し、近世には富裕な町人や武士たちの需要を背景に絹織物業が発展した。また、江戸時代には民衆の絹の着用は法令により規制されていたが、明治維新後、四民平等を掲げた一連の旧身分制度廃止政策のなかで、着衣衣料についての制限は基本的になくなった。絹織物は近代を通して高級和服素材、輸出品として盛んに生産されたが、第二次世界大戦後には化学繊維の普及に押され、生産量は激減した。

問4 下線部(c)について、旧身分制度廃止政策の一つに身分解放令(賤称廃止令)があるが、この発令と最も近い時期に起こった出来事について述べた文を、次の①～④のうちから一つ選べ。 4

- ① 五品江戸廻送令が出され、生糸の開港場直送が禁じられた。
- ② 絹の衣服を身にまとった貴婦人が、鹿鳴館の舞踏会で華やかに舞った。
- ③ 田畑勝手作りの禁が解かれ、桑などの商品作物を自由に栽培できるようになった。
- ④ 横山源之助は、製糸工場の過酷な労働状況を『日本之下層社会』に記した。

C 大陸から輸入されていた木綿は、各地で栽培されて広まり、戦国期には軍用衣料・帆・火縄などにも用いられた。また保温性・吸湿性がよく染色も容易なため、<sup>(a)</sup>江戸時代には庶民の衣料として急速に普及し、綿花栽培・紡糸・織布・染色といった社会的分業も進展して、各地に特産地が形成されたが、幕末の開港によって打撃を被った。<sup>(b)</sup>明治期以降の綿業は殖産興業や産業革命の過程で綿糸生産に飛躍的な進展が見られ、織物生産も増加し、それら綿製品の輸出も伸長していった。

問6 下線部(e)に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、以下の①～⑥のうちから一つ選べ。

Ⅰ 紡績女工などを保護するため、深夜業禁止や年少者就労禁止などを規定した工場法が、さまざまな例外規定を持ちつつも実施された。

Ⅱ 綿糸紡績業は、安価な輸入綿花を使用した機械制大工場生産によって朝鮮・中国への輸出を伸ばし、その結果綿糸輸出量は輸入量を上回った。

Ⅲ 綿糸生産の増大をはかるため臥雲辰致がガラ紡を発明した。

① Ⅰ—Ⅱ—Ⅲ

② Ⅰ—Ⅲ—Ⅱ

③ Ⅱ—Ⅰ—Ⅲ

④ Ⅱ—Ⅲ—Ⅰ

⑤ Ⅲ—Ⅰ—Ⅱ

⑥ Ⅲ—Ⅱ—Ⅰ

## 2002年度 第5問

A 明治維新以降の近代化は、農村社会にもさまざまな影響をおよぼした。政府は富国強兵のための安定した財源を確保するために、1873年<sup>(a)</sup>地租改正条例を公布した。その結果、地租は重い負担となって農民に降りかかり、松方デフレとよばれる深刻な不況期には、中下層農民の多くが没落して地主への土地集中が進んだ。こうしたなかで政府は、近代化政策を地方に浸透させるために、<sup>(b)</sup>地方制度の整備を進めた。

当時の農村生活には自給的な側面がなお色濃く残っていたが、<sup>(c)</sup>産業革命期には、商品経済がいつそう深く浸透し、資本主義経済や都市との関係を強めていった。こうした当時の農村の姿は、文学者や芸術家の関心を集め、が書いた小説『土』や

が描いた油彩画『収穫』などのように、農村生活を題材とした優れた作品も生み出された。

問4 下線部(c)に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

① 地主は、小作料として得た収入を、さまざまな企業の株式に投資するようになり、資本主義経済との結びつきを強めた。

② 製糸業の発展につれて繭の輸入が増大したため、養蚕業は衰退した。

③ 都市人口の増加に対応して米価が上昇し、この時期に米の生産も増大した。

④ 鉱工業の発展は公害問題を発生させ、足尾銅山の鉱毒被害に対して、田中正造は被害民の救済を求めて天皇への直訴を試みた。

## 2003年度 第5問

B 日清戦争後、<sup>(c)</sup>産業革命の進展にともない、地主や資本家を支持基盤とする政党の力が増大していった。の立場をひるが

えした政府は、政党の力を利用して軍備拡張予算案を成立させようとした。この流れのなかで、衆議院内の二大政党が合同して、新内閣を組織することになった。松山守善たち地方の政党员はこの内閣に大きな期待を寄せた。

上京した松山は、大隈重信首相に熊本県の政治状況を詳しく説明して、<sup>(6)</sup>知事の更迭を要求した。これに対し大隈は、「熊本は官僚の苗床なればこれを撲滅せねばならぬ。君ら委細のことは板垣に協議すべし。」と答えた。この時、松山たちの相談役を務めていたのは、東京で民友社を主宰していた「エ」であった。

問5 下線部(c)に関して、日清戦争から日露戦争までの間の経済上の出来事について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 29

- ① この間に、日本は債務国から債権国へと転換した。
- ② この間に、企業勃興とよばれる会社設立ブームが起こった。
- ③ この間に、農商務省が創設された。
- ④ この間に、綿糸の輸出高が輸入高を上回るようになった。

## 2004年度 第5問

A 19世紀に入るとヨーロッパ列強のアジア進出が本格化し、アヘン戦争での清の敗北は幕末の日本に衝撃を与えた。外国の脅威に對抗するため、<sup>(a)</sup>幕府や雄藩は軍事力の増強や近代技術の導入に取り組むようになった。

明治政府は、幅広い分野で技術や制度を導入し、富岡製糸場など多くの「ア」を設立した。技術の導入に当たっては、ニコライ堂などの洋館の建設に携わった「イ」など、お雇い外国人の果たした役割も大きかった。政府や民間による一連の<sup>(b)</sup>技術や制度の移植とともに、20世紀初頭までには産業革命とよばれる急速な工業化がみられた。

問1 空欄「ア」「イ」に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 25

- |   |        |        |
|---|--------|--------|
| ① | ア 官営工場 | イ コンドル |
| ② | ア 官営工場 | イ クラーク |
| ③ | ア 株式会社 | イ コンドル |
| ④ | ア 株式会社 | イ クラーク |

問3 下線部(b)に関して、1880年代までに行われた事柄を述べた次の文X～Zについて、その正誤の組合せとして正しいものを、以下の①～④のうちから一つ選べ。 27

X 郵便制度や電信事業がはじまった。

Y 大阪紡績会社はガラ紡を利用して大量生産を実現した。

Z 工部省によって鉄道が整備された。

- |               |               |
|---------------|---------------|
| ① X 正 Y 正 Z 誤 | ② X 正 Y 誤 Z 正 |
| ③ X 誤 Y 正 Z 誤 | ④ X 誤 Y 誤 Z 正 |

## 2006 年度 第 5 問

<sup>(a)</sup>1868 年 7 月、江戸は東京と改称された。翌年には<sup>(b)</sup>政府諸機関が次々と東京に移されたり、新設されたりした。こうして、東京は首都として機能しはじめる。それにともない、東京には<sup>(c)</sup>文明開化の新風俗がいち早く広まった。それらの風俗は、当時の文学作品や錦絵などにいきいきと描かれている。

こののち明治維新によって激減した東京の人口も再び増加に向かい、都市としてますます繁栄する。だが、そこに住む庶民の暮らしは、必ずしも豊かなものではなかった。1890 年代後半、東京の貧民街を調査した横山源之助は、拡大する社会的格差を記録し、「<sup>(d)</sup>人間の階級かくまで相違するものあるかを嘆ぜしむ」と述べた。

問 4 下線部 (d) に関連して、1890 年代の社会・経済に関して述べた次の文 X～Z について、その正誤の組合せとして正しいものを、以下の①～④のうちから一つ選べ。 28

X 困民党に結集した農民たちが、秩父事件を起こした。

Y 労働者の待遇改善を求めて、高野房太郎らが労働組合期成会を結成した。

Z 俸給生活者(サラリーマン)が大量に出現し、大衆文化の主要な担い手となった。

- |   |     |     |     |
|---|-----|-----|-----|
| ① | X 正 | Y 正 | Z 誤 |
| ② | X 正 | Y 誤 | Z 誤 |
| ③ | X 誤 | Y 正 | Z 正 |
| ④ | X 誤 | Y 正 | Z 誤 |